

就任のごあいさつ

県統計課長 田口源治



このたび、統計課長を命ぜられ、同時に県統計協会副会長に就任いたすことになりました。

もとより統計事務の分野は初めてであります、かねてから統計が各種の行政施策の基礎と

して重要な役割をもっていることは承知いたしております。しかし実際にこの職についていかに統計が私達の生活に密接不可分なものであり、統計と経済、社会生活との強いつながりを、改めて痛感いたしております。

また統計が一般に理解と認識をもたれ私達の日常生活に広くそして深く浸透しておりますことも力強い限りであります。

まして、情報化時代といわれる現今、政治、経済、社

会、文化等にあらゆるものが変動してやまないときに真実性のある、時宜をえた、スピーディな統計データが必要不可欠となっておりますことは当然のことであります。

しかもこれらの礎はなんと申しまして「統計体系の整備」と「統計の真実性の確保」が二大支柱となると思いますがこの2つが、石崎前課長をはじめ、先輩諸氏のなみなみならぬご努力により、着々理想的方向へ進んでまいったことを感謝しております。

本年度は、事業所調査、国勢調査調査区設定、全国消費実態調査、世界農林業センサスなど大きな調査が行なわれる年であります。微力ながら、これから懸命に、与えられた職務に努力いたしたいと思っております。どうか今後とも先輩各位に寄せられたと同様、みなさまのご指導、ご支援を心からお願い申し上げます。

離任のごあいさつ

鹿行県民室長兼鹿行農林事務所長 石崎百世



6月1日付をもちまして、鹿行県民室長兼鹿行農林事務所長を拝命し、統計課長と県統計協会副会長の職を去ることになりました。

統計の仕事を担当して、約3年の間大過なく職務を全うできましたことは、先輩各位、市町村統計関係者、統計調査員のみなさんの公私にわたる暖かいご支援と、ご助言によるものであり、深く感謝申し上げます。

顧みますれば、昭和41年7月1日就任いたしまして以来、各種の重要な調査、県および市郡町村の統計大会、行政資料の集中管理を目途とした行政資料室の設置、統計報告調整規程の制定等のことが次々と思ひ起こされまして、誠に懐かしく思われます。

また在職中、いろいろ私なりに考えたことや、みなさんから寄せられたご希望ご要望のことなどで実現し得な

かつたことを全く残念に思い心残りを感じております。しかし、幸にも後任に田口課長を迎え安心して後事を託すことができますことをうれしく存じております。

統計課時代つくづくと感じましたことは、統計が国、県、市町村はもとより、企業、学校、研究機関等の企画・立案・運営・経営・研究等にとつて、極めて重要なものであり、統計なくしてこれらのことが一つだになし得ないということでありました、こんごこの重要度はますますあらゆる分野で、如実に示されるものと確信いたしております。

この重要な職務にあたられる統計関係者のみなさんは、その責務をさらに深く自覚し、高い誇りをもつて本県統計の進歩と発展に、より一そうご努力を重ねられますことを願つて止みません。

最後に在職中、微力な私に寄せられましたみなさんの数々のご厚誼に対し、重ねてお礼申し上げます。